



平成23年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 JUKI株式会社

コード番号 6440 URL <http://www.juki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清原 晃

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 鈴木 正彦

TEL 042-357-2211

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第2四半期	43,470	0.2	591	289.9	1,211	334.7	724	13.0
23年3月期第2四半期	43,363	78.1	151	—	278	—	640	—

(注) 包括利益 23年12月期第2四半期 △269百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △155百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第2四半期	5.60	—
23年3月期第2四半期	4.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
23年12月期第2四半期	111,264		12,046		10.6
23年3月期	106,593		11,549		10.6

(参考) 自己資本 23年12月期第2四半期 11,868百万円 23年3月期 11,300百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年12月期	—	0.00	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	—	1,800	—	1,400	—	1,200	—	9.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

・当社は、決算日を当期より3月末日から12月末日に変更し、経過期間となる当期は、上記の通期連結業績予想は9ヵ月間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)の予想数値を記載しております。そのため、対前期増減率を記載しておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年12月期2Q	129,370,899 株	23年3月期	129,370,899 株
23年12月期2Q	150,153 株	23年3月期	149,132 株
23年12月期2Q	129,221,326 株	23年3月期2Q	129,227,828 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、円高の進行による影響はあったもののアジア地域などの新興国における需要が堅調に推移したことで、連結売上高は434億7千万円（対前年同期比0.2%増）となりました。連結営業利益は5億9千1百万円（対前年同期比289.9%増）、連結経常利益は12億1千1百万円（対前年同期比334.7%増）となりました。また、連結四半期純利益は、不動産の売却益が発生したため7億2千4百万円（対前年同期比13.0%増）となりました。

（主なセグメント別の概況）

第1四半期連結会計期間から、事業の連携強化と経営管理の効率化を図るため、従来の工業用ミシン事業と家庭用ミシン事業を統合し縫製機器事業とする変更を行っており、これにより報告セグメントの区分方法を変更しております。なお、詳細につきましては、9ページ(5)セグメント情報等をご参照ください。

① 縫製機器事業

アジア地域などの新興国の需要は増加したものの中国は減少し、縫製機器事業全体の連結売上高は279億6千4百万円（対前年同期比0.7%減）となりました。

② 産業装置事業

欧米市場においては底堅く推移したものの中国は伸び悩んだことなどから、産業装置事業全体の連結売上高は117億4千6百万円（対前年同期比1.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ46億7千万円増加して1,112億6千4百万円となりました。たな卸資産などが増加したことによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ41億7千3百万円増加して992億1千7百万円となりました。有利子負債が増加したことなどによるものです。純資産は、前連結会計年度末に比べ4億9千7百万円増加して120億4千6百万円となりました。利益剰余金が増加したことなどによるものです。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、35億6千9百万円の支出となりました。たな卸資産の増加などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億1千4百万円の支出となりました。有形及び無形固定資産の取得があったことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、40億4千4百万円の収入となりました。有利子負債の増加などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月期通期につきましては、8月9日に公表いたしました連結業績予想を修正しておりません。

なお、平成23年12月期第2四半期につきましては、本日（平成23年11月8日）別途公表しました「第2四半期連結累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算
当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。
なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(追加情報)

連結決算日の変更に関する事項

当社は、連結決算日（当社の事業年度の末日）を毎年3月31日としておりましたが、当社グループの連結ベースでの予算編成や業績管理等、事業運営の効率化等を図るため、平成23年6月28日開催の第96回定時株主総会において、定款の一部変更を決議し、連結決算日を毎年12月31日に変更いたしました。これに伴い、その経過期間となる当連結会計年度の期間は、平成23年4月1日から平成23年12月31日までの9ヵ月間となっております。

当該変更に伴い、在外連結子会社（重機(中国)投資(有) 他17社）の決算日と連結決算日との差異が無くなっており、在外連結子会社の平成23年1月1日から平成23年3月31日までの損益は利益剰余金に直接加減し、また、当該期間における在外連結子会社の現金及び現金同等物の変動は、四半期連結キャッシュ・フロー計算書において「決算期変更に伴う現金及び現金同等物の減少額」として表示しております。

なお、国内連結子会社については、決算日を3月31日から12月31日に変更しております。

退職給付引当金

当社は、平成23年7月1日付で退職給付制度を改定し、従来の適格退職年金制度及び退職一時金制度から、確定給付企業年金制度及び退職一時金制度へ移行するとともに、ポイント制による退職金算定方式が適用される従業員の範囲を変更しております。

これに伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用し、発生した過去勤務債務378百万円を一括して償却し、特別損失（退職給付制度改定損）に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,178	7,019
受取手形及び売掛金	17,357	17,764
たな卸資産	36,240	40,319
その他	4,146	5,686
貸倒引当金	△1,158	△1,163
流動資産合計	63,764	69,627
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,149	17,464
土地	7,510	7,474
その他(純額)	5,055	4,824
有形固定資産合計	30,714	29,763
無形固定資産		
投資その他の資産	1,855	1,676
その他	11,091	11,013
貸倒引当金	△832	△815
投資その他の資産合計	10,258	10,197
固定資産合計	42,829	41,637
資産合計	106,593	111,264
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,836	15,228
短期借入金	42,643	42,882
1年内償還予定の社債	40	40
未払法人税等	251	441
賞与引当金	747	868
その他	7,598	5,094
流動負債合計	66,117	64,555
固定負債		
社債	80	60
長期借入金	19,958	25,465
退職給付引当金	6,336	6,728
役員退職慰労引当金	174	176
その他	2,376	2,231
固定負債合計	28,925	34,662
負債合計	95,043	99,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,950	15,950
利益剰余金	2,604	3,644
自己株式	△58	△58
株主資本合計	18,496	19,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74	△47
繰延ヘッジ損益	△97	△86
為替換算調整勘定	△7,173	△7,581
その他の包括利益累計額合計	△7,196	△7,716
少数株主持分	249	227
純資産合計	11,549	12,046
負債純資産合計	106,593	111,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	43,363	43,470
売上原価	32,735	31,985
売上総利益	10,627	11,484
販売費及び一般管理費	10,476	10,893
営業利益	151	591
営業外収益		
受取利息	63	66
受取配当金	106	109
為替差益	359	1,066
その他	347	250
営業外収益合計	876	1,493
営業外費用		
支払利息	646	765
シンジケートローン手数料	47	42
その他	55	64
営業外費用合計	749	872
経常利益	278	1,211
特別利益		
固定資産売却益	1,893	392
その他	83	—
特別利益合計	1,976	392
特別損失		
固定資産除売却損	25	32
減損損失	134	—
投資有価証券評価損	291	134
退職給付制度改定損	—	378
特別退職金	68	—
その他	64	0
特別損失合計	584	545
税金等調整前四半期純利益	1,671	1,058
法人税等	1,034	334
少数株主損益調整前四半期純利益	636	724
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	0
四半期純利益	640	724

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	636	724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	△122
繰延ヘッジ損益	△40	11
為替換算調整勘定	△790	△883
その他の包括利益合計	△792	△994
四半期包括利益	△155	△269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△144	△261
少数株主に係る四半期包括利益	△10	△8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,671	1,058
減価償却費	1,864	1,660
減損損失	134	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△742	3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△42	413
賞与引当金の増減額(△は減少)	51	92
受取利息及び受取配当金	△169	△176
支払利息	646	765
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△1,867	△359
売上債権の増減額(△は増加)	△4,552	591
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,705	△5,627
仕入債務の増減額(△は減少)	6,797	778
未払消費税等の増減額(△は減少)	△192	263
割引手形の増減額(△は減少)	926	△1,119
その他	3,855	△1,050
小計	2,676	△2,705
利息及び配当金の受取額	164	183
利息の支払額	△616	△765
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△97	△281
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,126	△3,569
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,762	△575
有形及び無形固定資産の売却による収入	2,478	666
その他	121	△705
投資活動によるキャッシュ・フロー	837	△614
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,473	△821
長期借入れによる収入	5,444	11,382
長期借入金の返済による支出	△6,670	△5,785
社債の償還による支出	△20	△20
配当金の支払額	△2	△384
セールアンド割賦バック取引による収入	1,195	—
セールアンド割賦バック債務返済による支出	△26	△118
その他	△145	△207
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,698	4,044
現金及び現金同等物に係る換算差額	△297	△318
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	967	△457
現金及び現金同等物の期首残高	8,291	7,077
決算期変更に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△100
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,259	6,518

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 事業	産業装置 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	28,155	11,969	40,125	3,238	43,363	—	43,363
セグメント間の内部売上 高又は振替高	150	188	339	1,102	1,442	△ 1,442	—
計	28,306	12,158	40,464	4,340	44,805	△ 1,442	43,363
セグメント利益	644	442	1,087	289	1,377	△ 1,098	278

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロストワックス製品等の生産・販売を行っている精密鑄造事業、IT関連機器事業及び金型・プレス加工製品事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,098百万円には、セグメント間取引消去△22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,075百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社での管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な減損損失等がないため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 事業	産業装置 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	27,964	11,746	39,710	3,759	43,470	—	43,470
セグメント間の内部売上 高又は振替高	41	2,150	2,191	668	2,860	△ 2,860	—
計	28,005	13,896	41,901	4,428	46,330	△ 2,860	43,470
セグメント利益	1,451	408	1,860	186	2,047	△ 835	1,211

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロストワックス製品等の生産・販売を行っている精密鑄造事業、IT関連機器事業及び金型・プレス加工製品事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△835百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△831百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社での管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、事業の連携強化と経営管理の効率化を図るため、従来の工業用ミシン事業と家庭用ミシン事業を統合し縫製機器事業とする変更を行っており、これにより報告セグメントの区分方法を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当連結会計年度の報告セグメントの区分方法に基づいて算定しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。